

バスケットボール戦評記入用紙

大会 平成29年度 埼玉県高等学校バスケットボール新人大会  
 日時 平成 30 年 1 月 20 日 土 曜日 第 1 試合 A コート 時刻 10:00  
 場所 上尾運動公園体育館 記入者名 中村 敬子

A チーム	得点		得点	B チーム
埼玉栄 高校	<u>42</u>	$\left( \begin{array}{cc} 12 & - & 10 \\ 4 & - & 13 \\ 9 & - & 17 \\ 17 & - & 19 \end{array} \right)$	<u>59</u>	昌平 高校

<戦 評>

主力だった3年生が抜けたとはいえ、上背に勝る埼玉栄と、昨年からの主力が多く残り、試合巧者である昌平の興味深い戦い。

1P スターティングメンバーは埼玉栄#5, 7, 11, 12, 13 昌平#6, 7, 8, 9, 12。

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。埼玉栄が#11のドライブが落ちたところを#13がリバウンドシュートを決め先制。一方、昌平は#7のドライブで対抗する。5分経過したところで4-4とロスコアの展開となり、埼玉栄がタイムアウト。

#11、17の3Pで引き離そうとするが、昌平#9が相手のファウルを誘いフリースローでつなぎ、さらに3Pを決めて何とか食らいつく。一進一退の攻防で、12-10。埼玉栄のリードで1P終了。

2P 昌平は積極果敢に攻め、ガード陣が埼玉栄のディフェンスをくずし、フォワード陣がそれにうまく合わせて得点を重ねる。埼玉栄は、#11の1対1と、#13のリバウンドが頼りとなり思うように相手をくずすことができず、このピリオド4点と得点が止まる。16-23と昌平が逆転して前半が終了。

3P 埼玉栄は、大きさを生かそうと#13のローポストに積極的にボールを集めるが、昌平も粘り強いディフェンスで簡単に得点させない。昌平は、#7がドライブに、3Pにと躍動、#9もかけひきのうまさ、安定したシュート力で埼玉栄を翻弄する。25-40と昌平がリードを広げて、3P終了。

4P 埼玉栄は、#11の連続3Pを皮切りに、積極的にオールコートでプレスを仕掛け反撃の糸口をみつけたそうとするが、昌平に余裕を持って対応され、きっかけがつかめない。埼玉栄は、何とか追いつこうと積極的にゴールへ向かうが、1人1人がしっかりとしている昌平の攻撃にディフェンスが守りきれず、最終スコア59-42と昌平が試合巧者ぶりを見せつけてリーグ戦初戦をものにした。